

2024年度版大阪中体連男子適用規則

(公財)日本体操協会2022年版体操競技男子採点規則・2022年版中学校男子適用規則(U-15)に準じ、2024年度版大阪中体連男子適用規則を定める。この規則は、大阪市中体連大会及び大阪選手権大会大阪中学校総合体育大会に適用する。

1. 決定点の構成

決定点は次のように配転構成される。

演技の構成	(Dスコア：6技+終末技(a難度以上)+要求グループ+加点(最大0.5))
+実 施	(Eスコア：10.00-減点)
-N D	(ニュートラルディダクション：ライン減点、タイム減点、技数不足等)
決定点	

2. 演技構成

(1) Dスコア 7技(6技+終末技)

A難度(aも含む)の技は2回まで繰り返しを認める。

姿勢違いは別技として認定する。(抱え込み前宙と屈身前宙など)

技は難度により、次の得点(難度点)が与えられる。

A：0.1 B：0.2 C：0.3 D以上：0.4

* a：0.1であるが、終末技以外の要求グループは満たすことができない。

(2) 要求グループ

各種目I~IV(跳馬を除く)の4つのグループ技

各0.5×4 最大2.00 (終末技A難度以上で0.5 a難度0.3)

3. 要求グループおよび種目特有の要求

	要求グループ	種目特有の要求 (0.3の減点)	要求と難度が認められる技
ゆか	I 跳躍技以外の技 II 前方系の跳躍技 III 後方系の跳躍技 IV 終末技(A難度以上)	・前後(左右)開脚座か バランス(2秒) ・倒立静止(2秒) のない演技はそれぞれ0.3の減点	*演技時間は最大75秒まで
跳馬	D(U-15 価値点に準ずる)		*開脚(閉脚)跳びはD1.0 E7.0 *台上前転 D1.0 E8.0 *頭跳ね跳び D1.0 E9.0
鉄棒	I 前方車輪 II 後方車輪 III バーに近い技 IV 終末技(a難度以上)		*け上がり支持 III A *足裏支持回転倒立 III A *前方・後方かかえこみ 宙返り降り IV A

4. 加点について

組み合わせ加点は適用しない。演技全体に対する評価は最大0.5まで。安定した着地に対して0.1の加点を与える。(a難度は除く)

5. ND (技数不足の減点) について

* 7 技またはそれ以上	・・・	-0.00		
* 6 技	・・・	-1.00	3 技	・・・ -4.00
* 5 技	・・・	-2.00	2 技	・・・ -5.00
* 4 技	・・・	-3.00	1 技	・・・ -6.00

6. Eスコア減点項目について

- ・着地転倒、または片手、両手で支える・・・-0.5 とする。
- ・足からの着地が見られない・・・-0.5 と難度不認定する。

7. 難度認定の特例 a 難度について

主な a 難度を以下に示す。示された技以外は大会の主旨、レベル等を考慮して審判員が各自で判断する。

ゆか)

- ・前転技群 (前転、開脚前転、伸膝前転、倒立前転)
- ・後転技群 (後転、開脚後転、伸膝後転、後転倒立)
- ・側方倒立回転 ・ロンダート

鉄棒)

- ・懸垂前振りひねり (水平以下)
- ・懸垂前振り逆上がり、脚かけあがり
- ・後ろ振り上がり支持
- ・両手を同時に持ち換える技
- ・前方支持回転、後方支持回転
- ・足裏支持回転振り出しひねり片逆手懸垂
- ・足裏支持回転振り出し下り (IVを満たす)
- ・後方浮き支持前振り出し下り (IVを満たす)
- ・倒立経過片手ひねり下り (IVを満たす)

8. 禁止技について

- * 2022 年中学校適用規則 (U-15) に準じる。